

第101回全国高等学校野球選手権長崎大会 ～新たに刻む、ぼくらの軌跡。～

7月11日(木)、高校球児の夢と憧れの舞台である甲子園を目指し、第101回全国高等学校野球選手権長崎大会が開幕しました。長崎県営野球場で行われた開会式では、本格的な夏の到来を思わせるような強い日差しの下、参加55校の選手たちが堂々とした力強い行進を披露しました。

今年の全国大会のキャッチフレーズは「新たに刻む、ぼくらの軌跡。」です。令和最初の長崎大会の栄光を掴むのは、どの高校でしょうか。高校生らしく爽やかで、そして熱いプレーの一つ一つが、この長崎大会に参加するすべてのチームの軌跡となります。大会が続く18日間、手に汗握る熱戦が繰り広げられることでしょう。

開会式 ～開会式を彩った高校生の皆さん～



司会進行

長崎県立長崎西高等学校放送部
松原 愛海さん 富永 優希さん



先頭

長崎市立長崎商業高等学校
バトントワース



演奏

長崎市立長崎商業高等学校
ブラスバンド部



国歌独唱

長崎県立大村高等学校
3年 立石 彩乃さん



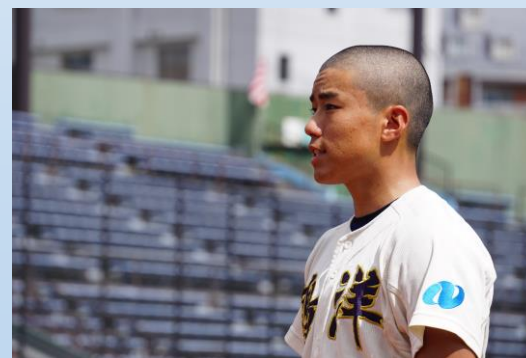
大会歌独唱

長崎県立大村高等学校
3年 黒板 蓮生さん



優勝旗返還

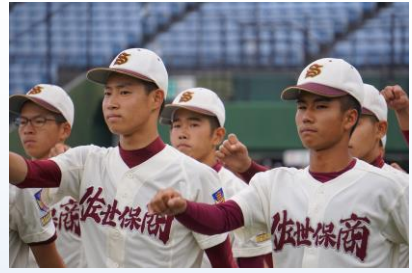
前年度優勝 創成館高等学校
野球部主将 3年 深見 直人さん



選手宣誓

長崎県立長崎鶴洋高等学校
野球部主将 3年 小川 桜輔さん

開 会 式 ～入場行進～



教育長激励のことば

いよいよ今年も、甲子園出場をかけた熱い戦いが始まろうとしています。皆さんの自信と誇りに満ちあふれた行進の姿から、鍛え抜かれた精神力と、憧れの甲子園を目指す、みなぎる闘志をひしひしと感じました。これまで互いに励まし合い、絆を深めた仲間たちと自分の限界に挑み続けた日々は、皆さんにとって何物にも代え難い貴重な財産であります。日頃の練習で培った力と技を存分に発揮し、悔いのないよう戦い抜いて欲しいと願っています。

令和の歴史に、新たな1ページを刻むのは、皆さんです。仲間を信じて果敢にチャレンジし、母校の代表として、高校生らしくはつらつとしたプレーを見せてください。そして見事、優勝の栄冠に輝いたチームには、母校の栄誉と長崎県の代表としての誇りを胸に、甲子園の大舞台上で大いに活躍し、県民をはじめ全国の高校生に希望と勇気を与えてくれることを期待しております。結びに、日頃から熱心にご指導をいただいている監督、コーチ、学校関係者の皆様や、本大会の開催にあたり、ご尽力いただいている役員の方々に厚く感謝を申し上げますとともに、本大会が選手の皆さんと熱い声援を送る生徒の皆さんの若さと感動に満ちた舞台となることを期待し、激励のことばといたします。



開会式直後には、北松西高等学校 対 口加高等学校の大会第1試合が行われ、1点を争う開幕にふさわしい白熱した好ゲームとなりました。

いよいよ熱戦の火蓋が切られました。大会を通じて、どんな感動的なドラマが生まれるか楽しみであります。選手の皆さんの大いなる健闘を祈念いたします。

令和元年7月11日
長崎県教育委員会教育長 池松 誠二